数学 科　　2 年

教科の目標

① 数についての理解を深め、文字式による表現や処理の仕方を理解し、具体的な数量やその関係の考および問題解決に活用できるようにすること。

② 平面図形や空間図形の基礎概念や性質の理解を深め、活用する能力を伸ばすとともに、図形に対する直感的な見方や考え方、図形の性質を数学的推論の方法で考察する過程を通して、論理的に表現する能力を伸ばすこと

③ 具体的な事象から2つの数量を取り出し、変化や対応を調べることを通して、関数関係を見いだし表現し考察する能力を伸ばすこと。

学習計画

1学期　（週3時間）		
月	週	内容
4	1	オリエンテーション
	2	1章 式の計算　4章 平行と合同
	3	1-1.式の計算　4-1.説明のしくみ
	4	
5	5	4-2.平行線と角
	6	1-2.文字式の利用
	7	
	8	
	9	2章 連立方程式
6	10	2-1.連立方程式とその解き方　4-3.合同な図形
	11	期末考査(10～12日)
	12	
	13	
7	14	2-2.連立方程式の利用
	15	

2学期　（週3時間）		
月	週	内容
9	18	5章 三角形と四角形
	19	5-1.三角形
	20	中間考査(17～18日)
	21	3章 1次関数
10	22	3-1.1次関数
	23	3-2.1次関数の性質と調べ方
	24	
	25	
	26	
11	27	5-2.平行四辺形
	28	期末考査(12～14日)
	29	3-3.2元1次方程式と1次関数
	30	
	31	3-4.1次関数の利用
12	32	
	33	6 確率
	34	6-1.確率

3学期　（週3時間）		
月	週	内容
1	35	
	36	
	37	6-2.確率による説明
2	38	7.データの比較
	39	7-1.四分位範囲と箱ひげ図
	40	
	41	学年末考査(24～26日)
3	42	2年生の復習
	43	
	44	
	45	

評価について

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態	
	観点の割合	33%	観点の割合	33%	観点の割合	33%
評価資料	小テスト 定期考査		小テスト 定期考査 提出物		小テスト 定期考査 提出物 授業観察	

学習の仕方と評価のポイント

○復習がとても大切です。授業で学習したことは、必ずその日の内に復習して下さい。そして、次の授業につなげて下さい。

○力を定着させるには繰り返し問題を解くことが大切です。力を伸ばすには、できなかった問題や間違えた問題の解き直しをするとともに、難しい問題にもチャレンジすることが大事です。

○提出物や問題集の点検では、正解し、理解しているかを見るだけでなく、間違えた問題は解き直し、理解に努めているかも見ます。